



ARSからの自動放球の様子
(気象庁 石垣島地方気象台)

新型ラジオゾンデ自動放球装置 Automated Radiosonde System(ARS)の運用を開始

気象庁様の高層気象観測地点4か所(八丈島、名瀬、石垣島、南大東島)に明星電気の新型ARSが設置され、2017年3月に運用を開始しました。

本装置は、天気予報に必要な気象データを取得するラジオゾンデを自動で放球することができます。さらに、遠隔操作による観測スケジュールの設定や、WEBカメラによる遠隔監視も実現しています。また、飛揚するゾンデを従来のRS-06G(A)型から新型のIMS-100(A)型に更新したことにより、小型でさらに観測精度の高いラジオゾンデでの運用が可能となりました。

明星電気はこれから高層気象観測製品の製作を通して、気象予測の精度向上に寄与していきます。

(担当:気象防災事業部)



IHIグループ展示ブース

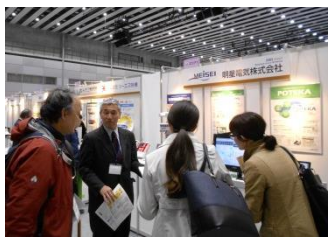
日本初、ガス・LNGに関する国際展示会に出展

4月4日から7日までの4日間、幕張メッセにおいて日本で初開催された「Gastech(ガステック) Japan 2017」にIHIグループとして出展しました。

本イベントは、1972年ロンドンで始まった天然ガス・LNGなどのエネルギー関係者に向けた国際イベントで、来場者数は25,000人以上、出展社数は600社以上で70か国以上の国々から参加がありました。当社は、IHIと共同開発中のLNGタンク内の撮像装置を展示しました。本装置は、ロケット・衛星搭載カメラの技術から開発され、マイナス196℃の極低温で動作し、タンク内の様子を動画で観察できます。展示会場では、ジョイスティックでカメラを操作し、80m先の文字をズームアップ表示させるデモを行い来場者から注目されました。

明星電気は、宇宙開発の高度な技術を幅広く民需に転用し、社会の安全に貢献する製品開発を進めていきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



当社展示ブース

第50回岩崎トータルソリューションフェアに出展

4月13、14日に札幌コンベンションセンターで開催された「第50回岩崎トータルソリューションフェア2017」に、気象・防災製品を出展しました。

ビジネスパートナーである株式会社岩崎様により開催された本フェアでは、国土交通省が推進する「i-Construction」をテーマとし、魅力ある建設現場のICT化に向けた関連企業約70社が出展して、2日間で計2,250人のお客様が来場されました。当社展示ブースでは、NETIS※を取得した超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKA、緊急地震速報対応QCASTシリーズ、制御用地震計S401などを展示し、「熱中症アラートや地震速報アナウンスが建設現場の安全管理に大変有効」とのご好評をいただきました。

明星電気は、北海道特有の自然災害においても最適な気象防災システムを提供することで、地域の安全に貢献していきます。

※国土交通省 NETIS(新技術情報提供システム)登録番号KT-160077-A

(担当:気象防災事業部、北海道支店)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。